

開催レポート

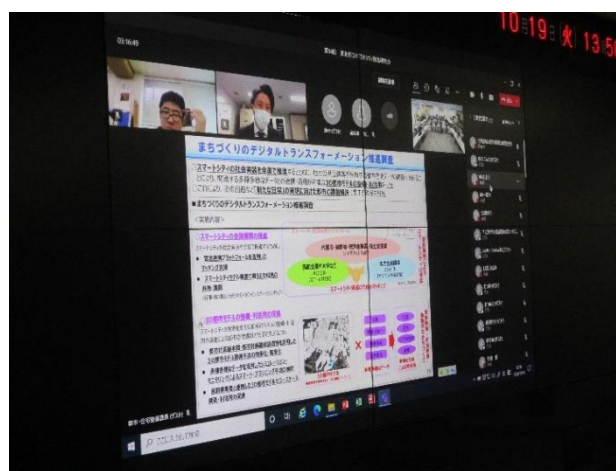
■第14回 東北発コンパクトシティ推進研究会開催概要

第14回となる今回は、令和3年10月19日に、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、Web会議形式で開催しました。当日は、情報提供（東北地方整備局建政部）、テーマ別に、事例紹介（高松市、横手市、北上市）及び全体討論、各先生方からの話題提供という構成で行いました。

情報提供では、東北地方整備局建政部より「コンパクトシティの取組への財政支援制度」をご紹介いたしました。

事例紹介では、高松市より「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」、横手市より「立地適正化計画を実現させるための横手市の方針について」、北上市より「あじさい都市と公共交通ネットワークについて」を紹介していただきました。

各先生方からの話題提供では、鈴木先生より「あらためてコンパクトシティの考え方に立ち返って」、中出先生より「人口減少社会での市街地の質を如何に担保するか」、北原先生より「居住誘導区域とストック再編の必要性」、姥浦先生より「災害リスクと（立地適正化計画を含む）土地利用計画との関係性について」、松川先生より「適正な誘導を実現させる土地利用制度や部門政策間の整合性・一貫性」、村上先生より「地域公共交通の育成からみた『コンパクト+ネットワーク』」をお話いただきました。



■開催日時・場所等

開催日：令和3年10月19日（火） 13：30～17：00

会場：仙台合同庁舎B棟13階 水災害予報センター

主催：東北発コンパクトシティ推進研究会（事務局：国土交通省東北地方整備局）

後援：日本都市計画学会東北支部

出席者：学識者および国、県、市町村の都市計画担当者

（学識者）福島大学名誉教授	鈴木 浩 氏
弘前大学教授	北原 啓司 氏
長岡技術科学大学教授	中出 文平 氏
東北大学大学院教授	姥浦 道生 氏
福島大学准教授	村上 早紀子 氏
長岡技術科学大学准教授	松川 寿也 氏

■開催プログラム・配布資料等

1. 開会
2. あいさつ
3. 情報提供 「コンパクトシティの取組への財政支援制度」…………… Report1
（国土交通省 東北地方整備局 建政部 都市・住宅整備課）
4. 事例紹介及び全体討論
【テーマ1】立地適正化計画を実現させるための方針の考え方
「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」…………… Report2
（高松市 都市整備局 都市計画課）
「立地適正化計画を実現させるための横手市の方針について」…………… Report3
（横手市 建設部 都市計画課）
「あらためてコンパクトシティの考え方に立ち返って」…………… Report4
（福島大学名誉教授 鈴木 浩 氏）
「人口減少社会での市街地の質を如何に担保するか」…………… Report5
（長岡技術科学大学教授 中出 文平 氏）
「居住誘導区域とストック再編の必要性」…………… Report6
（弘前大学教授 北原 啓司 氏）
「災害リスクと（立地適正化計画を含む）
土地利用計画との関係性について」…………… Report7
（東北大学大学院教授 姥浦 道生 氏）
「適正な誘導を実現させる土地利用制度や
部門政策間の整合性・一貫性」…………… Report8
（長岡技術科学大学准教授 松川 寿也 氏）
【テーマ2】コンパクト+ネットワークを実現させるためのあり方
「あじさい都市と公共交通ネットワークについて」…………… Report9
（岩手県 北上市 都市整備部 都市再生推進課）
「地域公共交通の育成からみた『コンパクト+ネットワーク』」…………… Report10
（福島大学准教授 村上 早紀子 氏）
5. その他（関係機関より）
6. 閉会

Report1 【情報提供】

[【PDF資料】](#)

コンパクトシティの取組への財政支援制度

国土交通省 東北地方整備局 建政部 都市・住宅整備課

国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課より、「コンパクトシティの取組への財政支援制度」と題して、立地適正化計画に基づき、都市機能の誘導・整備等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造へ再編を図る「都市構造再編集中支援事業」、地域住民の生活の質の向上と、地域・社会の活性化を図ることを目的とする「都市再生整備計画事業」等の財政支援制度について情報提供しました。



Report2 【事例紹介】

[【PDF資料】](#)

コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり

高松市 都市整備局 都市計画課

高松市より、「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」と題して、立地適正化計画の取り組み、その中で見えてきた課題についてご紹介いただきました。

公共交通機関の整備については、鉄道を基軸としたバス路線の再編により再構築した、持続可能な公共交通ネットワークの考え方、公共交通利用促進の取組みをご紹介いただきました。

土地利用については、令和元年度に公表した、都市構造の集約化に向けた施策パッケージをもとに居住誘導策、郊外住環境保全策、土地利用規制策の事業内容、また、立地適正化計画における課題への対応についてもお話いただきました。

Report3 【事例紹介】

[【PDF資料】](#)

立地適正化計画を実現させるための横手市の方針について

横手市 建設部 都市計画課

横手市より、「立地適正化計画を実現させるための横手市の方針について」と題して、市街地整備の方針に対する実現化方策や、都市構造再編集中支援事業についてご紹介いただきました。

これまでの横手市都市計画マスタープランに基づく施策内容や、横手駅前周辺のにぎわい再生に向けた中心市街地の魅力向上・融雪施設や道路整備、冬期間も安心して回遊できる歩行空間形成の重要性、事業内容についてもお話いただきました。

また、電線共同溝・緑化施設などの整備、地域交流センター施設などの高次都市施設を通して駅前ににぎわいの創出に向けた実際の取り組みについてもお話いただきました。

Report4 【話題提供】

あらためてコンパクトシティの考え方に立ち返って

福島大学 名誉教授 鈴木 浩 氏

鈴木先生より、「あらためてコンパクトシティの考え方に立ち返って」と題して、話題提供をいただきました。コンパクトシティを目指した原点の振り返り、立地適正化の基本的な視角に触れていただきながら、広域的観点から見た様々な課題についてお話いただきました。

長期的な時間軸で将来にわたってどういうまちづくりを目指すのか、住民との合意形成の重要性、空き家問題を解決し、まちなか居住をどう確保していくことの重要性について考えていくべきでないかと話題提供していただきました。



Report5 【話題提供】

人口減少社会での市街地の質を如何に担保するか

長岡技術科大学 教授 中出 文平 氏

中出先生より、「人口減少社会での市街地の質を如何に担保するか」と題し、話題提供をいただきました。

人口減少が進む中で、土地利用制度をどう考えるのか、土地利用転換の量と質の変化に対応する必要性、将来的にどのような都市構造を目指すのかを、市民に明確に提示することについて、お話いただきました。

また、市街地の質を担保するには、空間の質を踏まえた議論を進める必要があります、そのためには、人口フレーム方式には拘らず、密度設定を「生活の質」の担保、向上することを旨に、重点的に設定することについてもお話いただきました。



Report6 【話題提供】

居住誘導区域とストック再編の必要性

弘前大学 教授 北原 啓司 氏

北原先生より、「居住誘導区域とストック再編の必要性」と題し、話題提供をいただきました。

立地適正化計画の見直しにあたって、居住誘導区域に設定したエリアが、どのような姿で持続していくかを念頭に置いた都市計画の必要性についてお話いただきました。

また、移転元地を対象とした土地活用の促進については、自治体がい取り取った公有地及び周辺の民有地の暫定利用の仕組みの検討、公有地と民有地の集約化のための土地権利関係の取り組方策の検討の重要性についてもお話いただきました。



Report7 【話題提供】

災害リスクと（立地適正化計画を含む）土地利用計画との関係性について

東北大学大学院 教授 姥浦 道生 氏

姥浦先生より、「災害リスクと（立地適正化計画を含む）土地利用計画との関係性について」と題し、話題提供をいただきました。

災害リスクのレベルにおいて、土地利用計画をどうするのがポイントであり、リスクの情報を丁寧に提示した上で選択肢を出す必要があることについてお話いただきました。

また、災害リスクの観点だけではなく、まちづくりの総合性、利便性が求められるため、土地利用のメリットを比較した2軸の考え方についてもお話いただきました。



Report8 【話題提供】

適正な誘導を実現させる土地利用制度や部門政策間の整合性・一貫性

長岡技術科学大学 准教授 松川 寿也 氏

松川先生より、「適正な誘導を実現させる土地利用制度や部門政策間の整合性・一貫性」と題し、話題提供をいただきました。

誘導区域内への誘導を効果的に行う仕組み、非誘導区域での建築制限手法について、先行事例の分析を交え、お話しいただきました。

また、誘導区域内での生活インフラ整備は、雪対策関連事業を事例に、部門計画間の整合性・一貫性が重要であることについて、お話しいただきました。

そして、誘導区域としたところが、結果的に残存農地となっている実態、誘導すること自体の妥当性についてもお話しいただきました。



Report9 【事例紹介】

【PDF資料】

あじさい都市と公共交通ネットワークについて

北上市 都市整備部 都市再生推進課

北上市より、「あじさい都市と公共交通ネットワークについて」と題して、北上市の公共交通ネットワークの取り組みをご紹介いただきました。

都市拠点と地域拠点を結びつき、住み慣れた地域に住み続けることが出来ること、地域間の交流や連携を促すことを目的としながら、コミュニティバス・乗合タクシー・自家用有償運送等の整備、促進についてお話しいただきました。

また、拠点間交通と地域内交通の「結節点」として、廃止店舗を活用した待合施設や、地域ターミナルを高齢者サロン等へと活用し、地域のコミュニティの場として利用されている事例をお話しいただきました。

今後の公共交通ネットワークの課題としては、「料金割引等の利用促進施策の検討」、「運行本数の増、運行区間の延伸」、「新たな運行方法（担い手）の検討」を挙げられました。

Report10 【話題提供】

地域公共交通の育成からみた「コンパクト+ネットワーク」

福島大学 准教授 村上 早紀子 氏

村上先生より、「地域公共交通の育成からみた『コンパクト+ネットワーク』」と題し、話題提供をいただきました。

地域公共交通の利用促進のために必要な方策や課題、居心地が良く歩きたくなるまちづくりを実現するために、地域公共交通が果たす役割についてお話いただきました。

地方都市における公共交通の課題として、ラストワンマイルとなる二次・三次交通の欠如や、交通空白地域の増加がみられる中、北上市の地域内交通の取り組みから、話題提供をいただきました。

